

IV- (9) 2021年度 事業報告

2021年度事業報告書

1. 法人の概要

(1) 基本情報

- ①法人の名称 学校法人 了徳寺大学
②主たる事務所の住所 千葉県浦安市明海五丁目8番1号
電話番号 047-382-2111
FAX番号 047-382-2017
ホームページアドレス <https://www.ryotokuji-u.ac.jp/>

(2) 建学の精神

了徳寺大学は、日本固有の美や和の精神を継承し、この国と国民が、新たな価値を生み出すために、未来を拓く若人に、美しい環境と真摯に学ぶ場を提供する。いつも自立の心と連帯を重んじ、いかなる時も希望を持ち、友愛を深める人を目指す。そして地域、国、やがて世界へ貢献することを誓い、開学する。校章の四葉は、「自立、連帯、希望、友愛」をあらわし、周囲をめぐる帯には、和の心をこめる。医療と芸術の融合による新たな社会創造に向かい、我々の熱き思いを継ぐ人々の、恒久の学府たらん事を希求する。

(3) 学校法人の沿革

- 平成17年12月 学校法人了徳寺大学創立
17年12月 日本文化芸術学部 日本文化芸術学科設置
健康科学部 理学療法学科設置
18年4月 学校法人了徳寺大学開校
19年4月 日本文化芸術学部を芸術学部、日本文化芸術学科を美術学科に名称変更
健康科学部 整復医療・トレーナー学科設置
23年4月 芸術学部美術学科の学生募集停止
健康科学部 看護学科設置
26年3月 芸術学部美術学科廃止
27年4月 入学定員変更
(整復医療・トレーナー学科80人→60人・看護学科80人→100人)

(4) 設置する学校・学部・学科等

- 了徳寺大学 健康科学部
理学療法学科
整復医療・トレーナー学科
看護学科

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(2022年5月1日現在)

学 科 名	入学定員	収容定員	入学者数	1年	2年	3年	4年	合計
理学療法	80名	320名	102名	99名	100名	82名	97名	378名
整復医療・トレーナー	60名	240名	73名	86名	71名	79名	86名	322名
看護	100名	400名	110名	98名	105名	109名	121名	433名
合 計	240名	960名	285名	283名	276名	270名	304名	1143名

(6) 収容定員充足率

(2022年5月1日現在)

学部	学科名	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
健康科学部	理学療法学科	在籍学生数	377	375	363	382	378
		収容定員	320	320	320	320	320
		収容定員充足率	118%	117%	113%	119%	121%
	整復医療・トレーナー学科	在籍学生数	298	301	303	303	322
		収容定員	240	240	240	240	240
		収容定員充足率	124%	125%	126%	126%	134%
	看護学科	在籍学生数	462	464	446	435	433
		収容定員	400	400	400	400	400
		収容定員充足率	116%	116%	112%	109%	108%
学部合計	在籍学生数	1,179	1,137	1,140	1,120	1,113	
	収容定員	960	960	960	960	960	
	収容定員充足率	123%	118%	119%	117%	118%	

(7) 役員の概要

定員数 理事5～7、監事2～3

役員名	氏名	就任年月日	勤務	主な現職
理事長	了徳寺 健二	平成17年12月5日	常勤	了徳寺大学 教授
理事	石井 孝法	令和3年12月5日	常勤	了徳寺大学 教授
理事	山之口美喜生	令和2年4月1日	常勤	了徳寺大学 教授
理事	勝又 聡子	平成28年6月1日	常勤	了徳寺大学 副事務局長
理事	山田 利彦	平成29年12月5日	常勤	了徳寺大学 教授
理事	島田 直樹	令和3年12月5日	非常勤	弁護士
理事	田中 啓孝	平成29年12月5日	非常勤	保健体育 高校教諭
監事	大木 邦彦	平成17年12月5日	非常勤	(有)ベルファーマシー 勤務
監事	梅澤 博明	平成28年6月1日	非常勤	司法書士

(8) 評議員の概要

定員数 評議員11～15

役員	氏名	就任年月日	主な現職
評議員	了徳寺 健二	平成17年12月5日	了徳寺大学 教授
評議員	石井 孝法	令和3年12月5日	了徳寺大学 教授
評議員	山之口美喜生	令和2年4月1日	了徳寺大学 教授
評議員	勝又 聡子	平成28年6月1日	了徳寺大学 副事務局長
評議員	山田 利彦	平成29年12月5日	了徳寺大学 教授
評議員	島田 直樹	令和3年12月5日	弁護士
評議員	田中 啓孝	平成29年12月5日	高校教諭 (保健体育)
評議員	森嶋 康長	平成29年12月5日	税理士
評議員	前野 秋盛	平成17年12月5日	了徳寺大学 進路開発部長
評議員	石丸 圭荘	平成29年12月5日	了徳寺大学 教授
評議員	村上 亜希	平成27年10月30日	了徳寺大学 職員
評議員	今井 優子	平成28年6月1日	了徳寺大学 職員
評議員	石井 孝法	平成25年12月5日	了徳寺大学 准教授
評議員	兎澤 良輔	平成27年8月18日	了徳寺大学 講師 (卒業生)
評議員	金丸 雄介	令和1年12月5日	了徳寺大学 准教授

(9) 教職員の概要

区分	法人本部	大学	計	平均年齢
専任教員数		80	80	49.7
専任職員数	16	65	81	46.7

(10) その他（系列校等）

該当なし

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

・卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

了徳寺大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

- 1、日本の和の心と豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。
- 2、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。
- 3、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。
- 4、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。
- 5、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。
- 6、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

了徳寺大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。

- 1、開学理念・教育理念に示した、和の心と豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。
- 2、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確かなものとするカリキュラムとする。
- 3、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。
- 4、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。
- 5、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。

・入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

了徳寺大学の開学理念、教育理念を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。

- 1、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。
- 2、入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。
- 3、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。
- 4、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。

(2) 中長期的な計画と事業計画の進捗・達成状況について

○中長期的な計画

了徳寺大学中長期計画

①大学授業料無償化

②ストレスフリー療法の普及発展・研究の深化

③ストレスフリー療法普及地域の医療費削減、要介護高齢者割合減少

上記3案は、現在の了徳寺大学の独自性の一つとなっているストレスフリー療法を外部研究機関との研究を進め、広報・普及することで財源確保し、その財源を大学無償化に充てるという計画である。

④大学院、小中高大一貫教育の設置

中高大一貫教育として法学・政治学・経済学・教育学・体育学等の学部学科を増設、附属中学校高等学校の新設

⑤学生管理および大学業務管理の一元化（学生の入学前～卒業の情報共有や成績・単位認定・ポートフォリオ等の作成、教員・職員間の情報共有および労務管理や各種申請書及び提出書類のデジタル化・クラウド化・クラウド上決裁など）

⑥了徳寺大学附属クリニックの増設

実習地の確保、およびストレスフリー療法研究成果の臨床還元とその普及を目的に全国展開してゆく

⑦了徳寺大学附属病院の設置（看護では実習地確保が困難な科、リハビリも実習地確保、トレーナーによるスポーツ～健康増進施設併設およびリハビリとの連携、救急・整形外来で柔道整復師が活躍できる病院）

⑧アクティブラーニング強化

2030年までに全授業の30%をアクティブラーニング形式とし、筆記試験ではない方法による評価法へ変換してゆく

⑨体育館脇スペースや大学テニスコートのスペース活用

購買や学生主体のくつろぐスペースおよび開放型の学習スペース確保、柔道場・トレーニングルーム、大学附属クリニックなどといった機能を持った施設建築

○事業計画の進捗・達成状況

②ストレスフリー療法の普及発展・研究の深化においては、開発者である了徳寺健二を中心とした研究とその成果による著作活動によって広く啓蒙活動を行っており、また、2020年度より本学の在学生には機器の無償供与を行う等、ストレスフリー療法の普及発展を強力に推し進めている。この結果が①大学授業料無償化と③の医療費削減、要介護高齢者割合減少にも寄与していくものである。

④の学部学科の増設等については次年度以降の将来構想とし、⑤の管理業務の一元化については学内全体の通信環境の整備を2019年度より進め、2020年度においてWifiを含むネットワーク環境強化工事を行う等ITインフラの整備を完了した。また、学生管理業務においてはIC学生証による出席管理の本格運用を2020年度より開始し、入試業務についても2021年度にはWeb出願が実施できるようになった。

⑥の附属クリニックについては2019年度に整形外科1施設、2020年度に内科1施設、本年度5月に内科1施設を追加開院し、附属診療所は合計5ヶ所となった。

⑦の附属病院開設は今後の計画とする。

⑧のアクティブラーニング強化については新型コロナの影響で前期講義がほぼ遠隔授業になる等でイレギュラーな対応となっているが計画の実施に向けて準備をしている。

⑨のスペース活用についての施設建築の具体的計画案はこれからであるが、先行してトレーニングルームの拡充など、現施設を活用して計画の遂行を図っている。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	7,486,306,624	7,458,558,860	7,764,373,941	9,041,923,631	9,822,395,780
流動資産	1,586,223,726	1,865,378,060	1,807,733,453	1,079,319,379	1,545,140,878
資産の部合計	9,072,530,350	9,323,936,920	9,572,107,394	10,121,243,010	11,367,536,658
固定負債	126,764,601	172,840,650	209,635,062	547,084,222	799,106,634
流動負債	1,806,360,843	1,889,133,873	1,971,748,736	2,015,177,153	2,602,552,809
負債の部合計	1,933,125,444	2,061,974,523	2,181,383,798	2,562,261,375	3,401,659,443
基本金	6,970,060,651	6,683,410,505	6,709,479,289	6,841,698,934	7,003,318,813
繰越収支差額	169,344,255	577,702,931	681,244,307	717,282,701	962,558,402
純資産の部合計	7,139,404,906	7,261,962,397	7,390,723,596	7,558,981,635	7,965,877,215
負債及び純資産の部合計	9,072,530,350	9,323,936,920	9,572,107,394	10,121,243,010	11,367,536,658

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	1,911,620,000	1,852,500,000	1,862,755,000	1,827,325,000	1,816,680,000
手数料収入	27,201,710	27,921,820	32,078,390	24,469,410	23,980,450
寄付金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	97,627,280	87,307,480	67,904,680	154,013,733	146,561,166
資産売却収入	0	800,000	62,720,000	10,230,000	28,680,808
付随事業・収益事業収入	40,000,000	47,000,000	69,000,000	258,050,000	500,000,000
受取利息・配当金収入	50,086	48,769	55,732	36,616	2,240
雑収入	21,790,952	28,772,753	140,783,292	52,005,703	34,227,935
借入金等収入	0	90,000,000	0	550,000,000	1,001,500,000
前受金収入	1,567,980,000	1,596,415,000	1,582,440,000	1,597,122,100	1,624,432,630
その他の収入	2,036,077,621	896,226,029	1,533,093,114	2,792,718,343	2,744,580,837
資金収入調整勘定	-1,966,233,089	-1,576,315,088	-1,604,106,082	-1,596,820,400	-1,602,916,125
前年度繰越支払資金	2,600,786,871	1,276,711,352	1,556,907,405	1,181,246,425	931,834,041
収入の部合計	6,336,901,431	4,327,388,115	5,303,631,531	6,850,396,930	7,249,563,982

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
支出の部					
人件費支出	1,039,982,484	979,531,800	1,079,363,352	1,108,538,611	1,133,269,337
教育研究経費支出	479,506,507	485,077,308	468,878,678	536,971,640	519,168,169
管理経費支出	237,447,755	268,495,658	314,469,748	280,697,447	291,516,758
借入金等利息支出	47,430,601	44,342,829	43,559,633	44,699,862	75,750,979
借入金等返済支出	2,700,000	7,500,000	16,956,000	217,122,000	495,452,000

施設関係支出	1,691,820	0	138,464,520	500,000,000	59,010,798
設備関係支出	17,688,307	30,620,480	46,988,944	164,829,246	69,582,273
資産運用支出	1,555,000,000	37,295,584	291,568,753	811,141,547	777,022,968
その他の支出	2,217,269,007	1,117,207,160	2,067,251,626	2,564,648,252	3,276,151,973
資金支出調整勘定	-538,526,402	-199,590,109	-345,116,148	-310,085,716	-344,293,499
翌年度繰越支払資金	1,276,711,352	1,556,907,405	1,181,246,425	931,834,041	896,932,225
支出の部合計	6,336,901,431	4,327,388,115	5,303,631,531	6,850,396,930	7,249,563,982

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,058,239,942	1,996,502,053	2,048,478,846	1,986,638,233	2,021,193,099
教育活動資金支出計	1,756,936,746	1,733,104,766	1,914,382,298	1,862,711,778	1,943,954,265
差引	301,303,196	263,397,287	134,096,548	123,926,455	77,238,834
調整勘定等	290,329,990	35,750,715	-34,357,719	31,003,673	58,639,162
教育活動資金収支差額	591,633,186	299,148,002	99,738,829	154,930,128	135,877,996
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	0	800,000	19,565,000	62,720,000	28,680,808
施設整備等活動資金支出計	19,380,127	30,620,480	664,829,246	185,453,464	128,593,071
差引	-19,380,127	-29,820,480	-645,264,246	-122,733,464	-99,912,263
調整勘定等	-131,401,847	-20,277,033	12,186,350	64,917,916	26,377,352
施設整備等活動資金収支差額	-150,781,974	-50,097,513	-633,077,896	-57,815,548	-73,534,911
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	6,450,341,243	440,851,212	249,050,489	-533,339,067	62,343,085
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金支出計	3,654,259,251	1,016,628,660	3,413,587,431	2,204,126,145	4,346,224,977
差引	-1,582,920,285	7,039,495	59,054,220	-493,429,258	-114,265,848
調整勘定等	-182,006,446	24,106,069	224,872,463	20,653,698	17,020,947
その他の活動資金収支差額	-1,764,926,731	31,145,564	283,926,683	-472,775,560	-97,244,901
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	-1,324,075,519	280,196,053	-375,660,980	-249,412,384	-34,901,816
前年度繰越支払資金	2,600,786,871	1,276,711,352	1,556,907,405	1,181,246,425	931,834,041
翌年度繰越支払資金	1,276,711,352	1,556,907,405	1,181,246,425	931,834,041	896,932,225

ウ) 財務比率の経年比較

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動資金収支差額比率	8%	6%	-1%	5%	3%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

科目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	1,911,620,000	1,852,500,000	1,827,325,000	1,862,755,000	1,816,680,000
	手数料	27,201,710	27,921,820	24,469,410	32,078,390	23,980,450
	寄付金	0	0	0	0	0
	経常費等補助金	97,627,280	87,307,480	154,013,733	67,904,680	146,561,166
	付随事業収入	0	0	258,050,000	0	0
	雑収入	21,790,952	28,772,753	52,005,703	23,900,163	31,201,713
	教育活動収入計	2,058,239,942	1,996,502,053	2,048,478,846	1,986,638,233	2,018,423,329
	事業活動支出の部					
	人件費	1,039,982,484	979,531,800	1,108,538,611	1,079,363,352	1,130,499,568
	教育研究経費	609,242,216	613,700,054	648,130,049	580,069,158	609,515,283
	管理経費	252,641,425	284,334,275	292,032,742	341,134,789	323,954,478
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	1,901,866,125	1,877,566,129	2,051,181,402	2,000,567,299	2,063,969,329	
教育活動収支差額	156,373,817	118,935,924	-2,702,556	-13,929,066	-45,546,000	
教育活動外収支	事業活動外収入の部					
	受取利息・配当金	50,086	48,769	36,616	55,732	2,240
	その他の教育活動外収入	40,000,000	47,000,000	258,050,000	69,000,000	500,000,000
	教育活動外収入計	40,050,086	47,048,769	258,086,616	69,055,732	500,002,240
	事業活動外支出の部					
	借入金等利息	47,430,601	44,342,829	44,699,862	43,559,633	75,750,979
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	47,430,601	44,342,829	44,699,862	43,559,633	75,750,979	
教育活動外収支差額	-7,380,515	2,705,940	213,386,754	25,496,099	424,251,261	
経常収支差額	-3,204,217	148,993,302	121,641,864	210,684,198	378,705,261	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	66,666	0	1,159,999	30,009
	その他の特別収入	0	0	9,335,000	116,883,129	28,160,310
	特別収入計	0	66,666	9,335,000	118,043,128	28,190,319
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	0	0	39,935,759	1	0
	その他の特別支出	0	0	11,825,400	0	0
	特別支出計	0	0	51,761,159	1	0
特別収支差額	0	66,666	-42,426,159	118,043,127	28,190,319	
基本金組入前当年度収支差額	148,993,302	121,708,530	129,610,160	168,258,039	406,895,580	
基本金組入額合計	-100,781,974	-2,000,000	-26,068,784	-132,219,645	-161,619,879	
当年度収支差額	48,211,328	119,708,530	103,541,376	36,038,394	245,275,701	
前年度繰越収支差額	121,132,927	169,344,255	577,702,931	681,244,307	717,282,701	

基本金取崩額	0	288,650,146	0	0	0
翌年度繰越収支差額	169,344,255	577,702,931	681,244,307	717,282,701	962,558,402

(参考)

事業活動収入計	2,098,290,028	2,043,617,488	2,173,737,093	2,315,900,462	2,546,615,888
事業活動支出計	1,949,296,726	1,921,908,958	2,044,126,933	2,147,642,423	2,139,720,308

(2) その他

①有価証券の状況

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
該当なし			

②借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限
千葉銀行 鎌取支店	26,952,000	2.00	2029年1月31日
千葉銀行 鎌取支店	47,592,000	0.90	2024年1月31日
千葉銀行 鎌取支店	28,342,000	1.07	2026年1月31日

③学校債の状況

発行年度	本年度末残高	利率	償還期限
平成26年度	291,200,000	2.00	

④寄付金の状況

該当なし

⑤補助金の状況

私学事業団より経常費等補助金を受けている（事業活動収支計算書に記載）

⑥収益事業の状況

平成28年度から大学附属クリニックを開設。収益事業収入の推移は順調に増加している。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

役員・法人等の名称	資本金又は出資金	事業内容又は職業	関係内容		取引の内容
			役員 の兼 任等	事業上の関係	
医療法人社団了徳寺会	1,400万円	クリニック	有	業務委託	学生・職員健康診断他
株式会社ケントク	300万円	食堂の管理・運営	有	業務委託	学食・売店の業務委託
株式会社剛徳地所	1,010万円	不動産業	有	校地賃貸借他	校地賃貸・人材派遣他

花々亭株式会社	100万円	飲食店業	有	打合せ場所提供	打合せ場所提供
---------	-------	------	---	---------	---------

イ) 出資会社

該当なし

⑧ 学校法人間財務取引

学校法人名	取引の内容
了徳寺学園	資金の貸付

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営状況の分析

看護学科の新設以来4年以上経過し、全学年に学生が在籍するに至り、安定した経営体制に移行することが実現されている。収入の90%以上を占める学生生徒等納付金についても安定した収入計上が達成されている。人件費比率も50パーセント前後で推移している。教育関係支出は充実させ、管理関係支出は効率化するという経営方針のもとさらなる人材充実に努めているところである。総負債比率についても平成27年の資産流動化による財務構造改善により20%台を堅持しており、健全な経営が維持されている。収益事業からの繰入収入も順調に増加しているところであり、大学の教育活動に大いに貢献している。

② 経営上の成果と課題

新学科創設、財務構造の変革、収益事業の開始と様々な経営変革の結果、経営状況は大変良好である。

③ 今後の方針

引続き現在の経営を継続し、収益事業のさらなる強化にも努める。ストレスフリー療法による関連収益で授業料の無償化を目指す。

④ 対応方策

国家試験の対応等にかかる指導の強化にも努め、定員充足率100%を堅持する。ストレスフリー療法の在学学生無償供与で学生の健康増進に寄与し、引き続きストレスフリー療法の啓蒙活動と研究活動を強化していく。